

実習科目	単位	時間数	対象学年	単位認定者
老年看護学実習 I	2 単位	90 時間	2 年次	田中紀代美
実習概要 老いを生きる高齢者とその家族焦点をあて、高齢者の特徴を総合的に理解し、健康問題の解決へ向けて看護を実践できる能力を養う科目として位置付けられる。さらに最期まで人間として誇りを保ちながら自立した生活を送れるように支援する看護ができることをねらいとする。				
科目目標 生活の場をとおして老年期における対象の特徴を学び、健康で生きがいのある生活に向けた看護の役割を理解する。				

実習計画

区分	実習場所・時間	内容及び方法
老年看護学 実習 I	老人福祉センター 22.5 時間	<p>老年保健、医療、福祉に関する法律や動向、対策等については事前学習する。</p> <p>地域で暮らす高齢者の健康維持増進、疾病予防がどのように実施されているか、高齢者の活動と一緒に参加し、反応を観察する。また、運動機能や感覚機能、日常生活の自立の程度、物事の見え方や価値観、家庭及び地域での役割や関係、加齢現象の個人差など加齢に伴う特徴を観察する。</p> <p>そして、高齢者の生きがいについて観察やコミュニケーションを通して把握する。</p>
	老人ホーム 60 時間	<p>高齢者の特性をふまえたコミュニケーションを行い、高齢者の身体的・精神的・社会的特徴を理解する。そして、食事、排泄、清潔、活動・休息など、対象の自立度に応じた援助の方法を考え、高齢者のセルフケア能力の維持・向上に向けての援助を行う。そして、施設における保健医療福祉チーム間の連携や、社会資源の活用方法及び看護の役割を理解する。</p>
	学内実習 7.5 時間	<p>カンファレンスやレポートで高齢者の QOL を高める看護について考えを深める。</p>
備考		